

第1回武田薬品工業湘南研究所の環境保全に関する連絡会について報告

1. 日時 平成27年5月30日(土) 10:00~11:10
2. 場所 武田薬品工業(株)湘南研究所 会議室
3. 出席者 植木町内会、岡本住宅町内会、鎌倉ロジュマン、鎌倉岡本ガーデンホームズ、四季の杜自治会、鎌倉グランマークス、レックスガーデン鎌倉
岡本：(11名出席)(3名欠席)
武田薬品工業(株)湘南研究所：(6名出席)
鎌倉市(環境保全課)：(2名出席)

4. 内容

会議に先立ち、武田薬品工業株式会社三井コーポレートビジネスセンター パーソネル&アドミニストレーション部湘南オフィス長の挨拶後、平成27年度初回のため、各委員の紹介を自己紹介形式で行い、鎌倉市環境保全課長の進行のもと会議次第に沿って会議が行われた。内容は次のとおり。

(1) 鎌倉市からの報告

連絡会の傍聴について市民団体から要望が寄せられており、昨年については傍聴を認めない意向を確認したが、今回委員も変更されていることから、これまでの経緯を説明し(近隣地域住民、町内会の自由な意見交換の場として連絡会があること、情報公開についても資料等については武田薬品工業(株)、鎌倉市のホームページで公開しており、自治町内会には回覧で情報公開を行っていること)今後の連絡会における傍聴の可否について委員に諮った。

住民：これまで通り、傍聴を認める必要はない。連絡会の運営当初から、特に変わったことはない。今までの運営で情報の開示は十分行われており、傍聴を認める必要はない。

市：これまで通り、情報提供・開示をしっかりと行っていく事で、連絡会として、今後も傍聴を認めないということによいか。

住民：総員。傍聴を認めないことを了承。

(2) 武田薬品工業株式会社からの報告

資料に沿って、昨年度1年間に実施した環境測定結果報告及び協定書に係る覚書の一部改正、環境モニターの推薦の依頼、研究所周辺で行っているボランティア清掃、秋祭り、玉縄桜をひろめる会への寄付、桜と新緑を楽しむ散策、研究所の近況報告について説明があった。

主な内容は次のとおり。

・環境測定結果報告

排気のボイラー2台が測定時に休止中であったため、運転を再開する前に測定を実施する予定。

また騒音については、近隣施設の機械音や虫の声等で超過した時間帯もあっ

たが、概ねすべての項目について管理目標値を満足していた。

- ・環境保全に関する協定書の改定について

水質汚濁防止法の改正に伴いカドミウムの排水基準の変更があり、協定書、別表2の法令基準及び管理目標を変更した。

- ・環境モニター推薦依頼

環境モニターについて、各自治会町内会に今年度も推薦をお願いしたい。

- ・ボランティア清掃、秋祭り、玉縄桜をひろめる会への寄付、桜と新緑を楽しむ散策について

年4回、研究所所員が研究所周辺のボランティア清掃を行っており、先日も実施した。

昨年秋には秋祭りを開催し、多くの参加があった。

また、研究所のエコ活動で所員に付与されるエコポイントを活用して「玉縄桜をひろめる会」への寄付を行った。昨年中止された、春の「桜と新緑を楽しむ散策」を今年は実施した。

- ・研究所の近況

京都大学のiPS研究所と共同研究を10年間の予定で行う事になった。

研究にあたっては、iPS研究所の研究者にも湘南研究所の環境保全協定を含めた決まりは確実に遵守していただき、湘南研究所周辺への環境負荷（影響）はこれまでと変わることのないようにする。

主な質疑内容

住民：これまで問題になっていた、騒音の問題の防音対策について対応していただいていると聞いているが、具体的な対応や経緯について教えてもらいたい。

武田：以前から峯の下の住民の方から騒音について意見をいただき、これまで騒音測定や原因調査を行った結果、研究棟屋上の機器が発生源である可能性が否めないことがわかった。

周波数の分析結果からは、科学的に明確な因果関係は確認されていないが、感覚的には研究所の方角から音が来ている感じを受ける。

現在とれる対策として、屋上に設置している防音壁（30～40m）の隙間（約10cm幅）10か所について、順次隙間を埋めて効果の確認をする作業を5月の連休明けから行っている。

現在2か所目の効果を見ており、今後、騒音の原因場所を特定できればと考えている。

住民：住民に確認して順次進めているということか。

武田：効果を確認しながら進めている。

住民：研究所周辺の人口は少なく、人それぞれ騒音や環境について感じ方が違う。武田薬品にはコンプライアンス部門があるので、周辺住民とコミュニケーションをとっての継続的な対応をお願いしたい。

武田：今後も引き続き対応していく。

住民：コミュニティについて報告したい。

武田薬品さんには、玉縄祭り等のイベントで協力をしてもらっている。

また、マイタウン玉縄は鎌倉市地域活動で初めてのホームページであり、武田薬品さんにも協力してもらっている。

住民：武田薬品(株)研究所が開設してから4年目になるが、武田薬品工業(株)は地域とのコミュニティ活動にも積極的で、企業として地域への協力支援もしていただいております。地域のコミュニティ活動を通して、藤沢市だけでなく、鎌倉市とも今後も地域との協力関係を深めてもらいたい。

市：鎌倉市も引き続き武田薬品工業(株)と連携をし、環境に関する保全協定のもと連絡会の開催を行っていききたい。

住民：グラウンドの利用について、現在借りるのに限定した競技しか貸し出してもらえないが、小さい子供の野球やボール遊びなどに貸し出してもらうことはできないのか。

住民：サッカー協会、ラグビー協会に加盟している団体に限り申込みができると聞いている。

武田：グラウンドの使用については、ゴルフや野球は近隣の迷惑になる可能性があるため、貸していない現状がある。小さい子供が遊ぶために貸し出すことについては検討していききたい。

住民：マンション等の公園で、子供が遊んでいることが多い。もう少しグラウンドが自由に使用できるように開放を考えてほしい。

また、研究所の敷地内の植栽の管理について、今は管理会社を通じて行っていると思うが、地域のシニアの活用を考えてほしい。

市：すぐに対応するのは難しいと思うが、対応を検討していただきたい。

住民：近隣の方を活用するのは、地域の活性化に役立ちいいことだと思う。

武田：研究所内の委託業務については、なるべく近隣の方に従事いただくよう取り組んでいる。このことについては、社内で検討していききたい。

市：今後の課題として検討していただきたい。

5. その他

次回連絡会の開催は、今年度同様に環境調査の結果が来年5月頃まとまる予定のため、それ以降に開催したいと考えている。

また、それ以外に委員の皆様から要望があれば、武田薬品と調整の上開催したいと考えていることを伝え、了承を得た。